

<さらに考えましょう>

ここに「100万円のダイヤモンド」と「100円の飲料水」があったとします。

○今あなたは、どちらがほしいですか。

○どちらもタダだとすると、どちらがほしいですか。

○今あなたが砂漠を放浪しているとすれば、どちらがほしいでしょうか。

価格など、全く違うものでも一つのモノサシで置きかえられる価値を、経済学では「交換価値」といいます。

身を飾るため、のどを潤すためなど、使う目的によって定まる価値のことを、同じく「使用価値」といいます。

ただの石ころでも、特別な思い出がこもっている石ころは、その人にとってはかけがえのない価値があります。でも、他の人にとってはやはりただの石ころです。他のなにものとも比較や交換のできない「かけがえのないもの」の価値を、たとえば「絶対価値」とでも呼びましょう。

○この子が生まれたときは、ただただ「生まれてきてくれてありがとう」だったはず。

○なのに、いつから人と比べるようになったんだろう。

○人と比べて一喜一憂するよりも、去年のこの子と比べて「こんなに大きくなった」「こんなこともできるようになった」と喜ぶ方が、きっと親も子も元気が出る…かも！

<学習を振り返りましょう>

自分のなかで、わかったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

【参考】自己評価 (「とてもそう思う」と回答した中学生の割合)

(単位: %)

	日本	米国	中国	韓国
私は人並みの能力がある	13.0	55.6	49.4	7.6
自分はダメな人間だと思う	20.8	4.7	3.4	7.9
周りの人の意見に影響されるほうだ	19.5	10.4	9.5	10.9
自分の意志を持って行動できるほうだ	19.3	26.4	29.1	12.8

(「中学生・高校生の生活と意識—日本・アメリカ・中国・韓国の比較—」(2009年)(財)日本青少年研究所より)

お問合せ: 〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター
TEL: 082-248-8848 FAX: 082-248-8840 E-mail: sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

稽って、話して、自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

「過ぎてしまえば一番幸せ」期(子育て前期)

「ワクワク・ドキドキ」編

(小学1～3年生の親を対象としたプログラム) その2

くらべないで!

～比べられる価値と比べられない価値～



イラスト: うじな かずひこ

出産から幼児期まで、嵐のような6年間が過ぎました。本当におつかれさまでした!!

息つく間もなく小学生。「勉強はついていけるのかしら」「体も小さいし」…これまではあまり気にならなかったことが、やたら気になってきたりしていませんか?

子どもの成長を多様な価値観で受けとめ、この子が自ら伸びようとしている芽をみつけて、しっかり伸ばしてあげたいものですね。

広島県教育委員会

<読みながら、考えましょう>

★小学3年生のミキちゃんは、算数が苦手でした。

今日、学校で算数のテストがあり、お母さんに見せています。ミキちゃんは…



母親のセリフを入れてみましょう。

テストが90点なら、あなたなら何と言うでしょうか。

★学力のほかにも…



とか

お兄ちゃんは何ができなくて、お父さんにしかられているのでしょうか。



ということもありそうです。

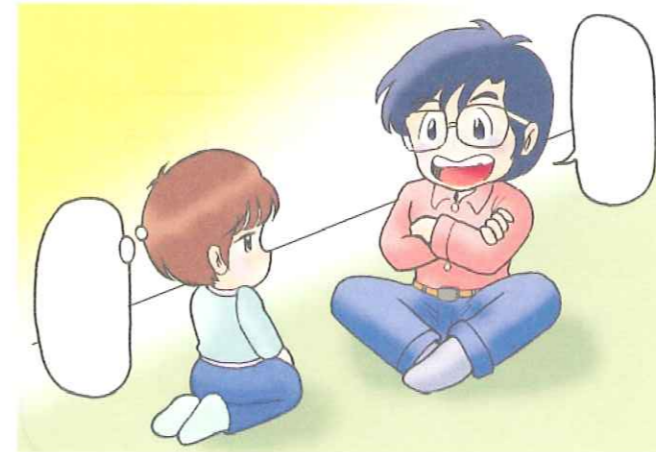
あなたは他の子と比べて、自分の子のどんなところが気になりますか。

きょうだいと比べて、どうですか。

自分自身が同じくらいだった頃と比べてどうですか。

★父親が、子どもを励まそうと思って、話をしています。

でも、なんだか子どもの顔には元気がありません…



父親は何を話していると思いますか。

子どもはどう思っているのでしょうか。

あなたが子どもだったとき、親から人とくらべられてイヤだった体験、逆にうれしかった体験はありませんか。